



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 JSP

コード番号 7942 URL <http://www.co-jsp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塚本 耕三

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小森 康

TEL 03-6212-6306

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	45,971	0.5	2,762	△27.3	2,801	△25.7	1,875	△33.0
23年3月期第2四半期	45,764	17.9	3,797	75.4	3,770	83.0	2,798	95.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,663百万円 (100.3%) 23年3月期第2四半期 1,329百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	62.91	—
23年3月期第2四半期	91.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	87,980		48,697			52.0
23年3月期	89,152		46,481			49.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 45,778百万円 23年3月期 43,843百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	15.00	—	15.00	円 銭	30.00
24年3月期	—	15.00	—	—	円 銭	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	円 銭	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	1.1	5,700	△24.5	5,800	△26.3	3,400	△30.4	114.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	31,413,473 株	23年3月期	31,413,473 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,597,129 株	23年3月期	1,597,012 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	29,816,364 株	23年3月期2Q	30,727,507 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の債務問題に起因する金融不安が实体经济にも影響を及ぼし始め、緩やかな回復基調にあった欧米の景気は減速傾向となり、アジア諸国や新興国における経済成長もその勢いを緩めるなど、全体的に低調路線となりました。また、我が国経済においては、深刻な打撃をもたらした東日本大震災から半年余りが経過する中、サプライチェーンの復旧に伴い企業の生産活動は徐々に持ち直しつつあります。しかしながら、今後の具体的な復興政策や電力供給問題など山積みされる課題に加え、歴史的な円高の長期化による企業収益の悪化懸念などにより、日本経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、震災により一部生産設備等が被害を受け、計画停電及び電力使用制限等により生産体制に一部制約を受けましたが、設備の早期復旧に鋭意取組むとともに、グループ内での代替生産の実施と、各拠点の状況に対応した稼働体制等により、安定供給に全力で努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,971百万円（前年同期比0.5%増）となりました。営業利益は原材料及び燃料価格の上昇によるコスト高等により2,762百万円（同27.3%減）、経常利益は2,801百万円（同25.7%減）、四半期純利益は1,875百万円（同33.0%減）となりました。

報告セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、平成23年4月1日付で会社組織の変更を行っており、以下、前年同期比較については、当該変更を反映した前年同期の数値を用いております。

#### (押出事業)

産業用包材の発泡ポリエチレンシート「ミラマット」・発泡ポリプロピレンシート「Pボード」は、主にデジタル家電輸送用に用いられておりますが、震災の影響による家電市場の縮小や流通量の低下を受け、売上は減少しました。食品用包材の発泡ポリスチレンシート「スチレンペーパー」は、震災等の影響により需要環境が不規則に変化し、売上が伸び悩みました。広告用ディスプレイ材や折材の発泡ポリスチレンシート「ミラボード」は、震災後しばらく続いた企業の広告宣伝活動自粛により苦戦しましたが、その後の需要回復もあり、売上は前年同期並みに推移しました。また、発泡ポリスチレン押出ボードの住宅用断熱材「ミラフォーム」は、省エネ住宅用需要が堅調であったことに加え、震災の復興需要もあり、売上は増加しました。トラックの積載品を保護するための緩衝材や家電・自動車用部品の通い函に使用されている発泡ポリエチレン押出ボードの「ミラプランク」は、震災の影響による物流量の低下が響き、売上が減少しました。

これらの結果、押出事業の売上高は17,133百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は1,320百万円（同1.5%増）となりました。

#### (ビーズ事業)

発泡ポリプロピレン「ピーブロック」は、バンパーコア材・内装材・シートコア材等の自動車部品のほか、IT製品輸送用通い函・家電製品用緩衝材・競技用グラウンド基礎緩衝材等に用いられており、日本及び海外の各地域で製造販売を行っております。日本国内においては、震災後の自動車生産台数の落ち込みが長引き、売上が減少しました。一方、アジア各地域においては、中国における家電用包装材・自動車資材の需要増を中心に売上が増加し、また、欧米においては、主に自動車資材用途で堅調を維持した結果、売上が増加しました。発泡性ポリスチレン「スチロダイア」は、震災後に大幅に減少した被災地域の魚箱需要が依然回復に至らず、売上が減少しました。また、当連結会計年度よりビーズ事業に移管しましたユニットバス天井材に使用されているハイブリッド成形品「スーパーブロー」は、住宅設備需要の増加により売上が増加し、自動車エアコン用ダクトに使用されている「スーパーフォーム」は、自動車生産台数減により売上が減少しました。

これらの結果、ビーズ事業の売上高は25,947百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は1,636百万円（同35.9%減）となりました。

#### (その他)

一般包材は、国内需要の影響により、売上は減少しました。なお、前連結会計年度まで新事業分野として（その他）に区分しておりました「スーパーブロー」並びに「スーパーフォーム」につきましては、当連結会計年度よりビーズ事業として製造・販売を行っております。

これらの結果、その他の売上高は2,890百万円（前年同期比6.8%減）、営業損失は105百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は87,980百万円で、前連結会計年度末に比べ1,171百万円減少しました。このうち流動資産は1,359百万円減少し、固定資産は188百万円増加しました。

負債は39,282百万円で、前連結会計年度末に比べ3,387百万円減少しました。このうち流動負債は4,183百万円減少し、固定負債は795百万円増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の純資産は48,697百万円、自己資本比率は52.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は6,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,883百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、収入要因である税金等調整前四半期純利益2,581百万円、減価償却費2,263百万円に対し、たな卸資産の増加936百万円、法人税等の支払額997百万円、仕入債務の減少498百万円などで差引き1,596百万円の収入（前年同期比390百万円減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出2,052百万円、定期預金の純増による支出791百万円などで2,490百万円の支出（同745百万円増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入3,103百万円、短期借入金の純減による支出3,052百万円、長期借入金の返済による支出2,518百万円などにより、差引き3,056百万円の支出（同576百万円増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、第2四半期連結累計期間では東日本大震災の影響により前回予想を下回りましたが、第3四半期連結累計期間以降は、震災復興の進展による内需拡大や自動車産業の回復により、徐々に業績は改善に向かうものと考えております。しかしながら、通期では、第2四半期連結累計期間の落ち込みをカバーするには至らず前回予想値を下回る見込みとなり、平成24年3月期の連結業績予想を修正しております。

前回予想値との差異は、以下のとおりです。

平成24年3月期連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想値(A)	93,000	6,300	6,400	4,100	137.51
今回修正予想値(B)	93,000	5,700	5,800	3,400	114.03
増減額(B-A)	—	△600	△600	△700	—
増減率(%)	—	△9.5	△9.4	△17.1	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	91,971	7,552	7,874	4,881	161.25

なお、業績予想値は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,474	10,535
受取手形及び売掛金	26,709	27,064
有価証券	0	0
商品及び製品	4,862	5,287
仕掛品	598	751
原材料及び貯蔵品	2,868	3,260
その他	2,792	3,066
貸倒引当金	△214	△233
流動資産合計	51,091	49,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,489	11,469
機械装置及び運搬具（純額）	9,265	9,236
土地	11,995	11,986
その他（純額）	1,443	1,640
有形固定資産合計	34,194	34,332
無形固定資産	986	1,023
投資その他の資産		
投資有価証券	1,673	1,707
その他	1,246	1,229
貸倒引当金	△40	△44
投資その他の資産合計	2,880	2,892
固定資産合計	38,060	38,248
資産合計	89,152	87,980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,210	9,769
短期借入金	9,200	6,176
1年内返済予定の長期借入金	4,533	4,583
未払法人税等	967	559
賞与引当金	1,326	1,000
その他の引当金	340	140
その他	5,330	5,495
流動負債合計	31,908	27,725
固定負債		
長期借入金	9,307	9,873
引当金	651	769
負ののれん	241	180
その他	561	733
固定負債合計	10,761	11,557
負債合計	42,670	39,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,128	10,128
資本剰余金	13,405	13,405
利益剰余金	28,475	29,904
自己株式	△1,371	△1,371
株主資本合計	50,638	52,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	22
為替換算調整勘定	△6,805	△6,310
その他の包括利益累計額合計	△6,794	△6,287
少数株主持分	2,638	2,918
純資産合計	46,481	48,697
負債純資産合計	89,152	87,980



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	45,764	45,971
売上原価	31,997	33,151
売上総利益	13,767	12,819
販売費及び一般管理費	9,969	10,057
営業利益	3,797	2,762
営業外収益		
受取利息	79	102
負ののれん償却額	60	60
持分法による投資利益	—	23
その他	118	139
営業外収益合計	258	325
営業外費用		
支払利息	125	120
為替差損	76	43
持分法による投資損失	33	—
その他	50	123
営業外費用合計	285	287
経常利益	3,770	2,801
特別利益		
固定資産売却益	3	12
投資有価証券売却益	257	—
災害損失引当金戻入額	—	84
その他	143	—
特別利益合計	404	96
特別損失		
固定資産除却損	49	17
固定資産売却損	11	27
減損損失	—	68
災害による損失	—	179
関係会社支援損	50	—
その他	5	24
特別損失合計	117	316
税金等調整前四半期純利益	4,057	2,581
法人税等	1,070	548
少数株主損益調整前四半期純利益	2,987	2,033
少数株主利益	189	157
四半期純利益	2,798	1,875

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,987	2,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147	11
為替換算調整勘定	△1,509	619
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△1,657	630
四半期包括利益	1,329	2,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,377	2,382
少数株主に係る四半期包括利益	△47	280

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,057	2,581
減価償却費	2,248	2,263
減損損失	—	68
負ののれん償却額	△60	△60
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	22
固定資産除売却損益 (△は益)	58	32
投資有価証券売却損益 (△は益)	△252	0
受取利息及び受取配当金	△92	△115
支払利息	125	120
為替差損益 (△は益)	△51	△80
持分法による投資損益 (△は益)	33	△23
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,551	△247
仕入債務の増減額 (△は減少)	419	△498
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△270	△936
その他	210	△584
小計	3,866	2,541
利息及び配当金の受取額	96	172
利息の支払額	△129	△120
法人税等の支払額	△1,847	△997
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,986	1,596
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△1,748	△2,052
固定資産の売却による収入	12	93
固定資産の除却による支出	△7	△9
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	395	0
定期預金の純増減額 (△は増加)	△175	△791
関係会社株式の取得による支出	△300	—
その他	83	274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,744	△2,490
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	498	△3,052
長期借入れによる収入	1,300	3,103
長期借入金の返済による支出	△2,443	△2,518
社債の償還による支出	△162	—
自己株式の取得による支出	△1,159	△0
配当金の支払額	△372	△447
少数株主への配当金の支払額	△122	△123
その他	△18	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,479	△3,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△342	66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,580	△3,883
現金及び現金同等物の期首残高	9,069	10,487
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,488	6,603

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	押出事業	ビーズ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,119	25,541	42,661	3,103	45,764	—	45,764
セグメント間の内部 売上高又は振替高	441	249	691	9	700	△700	—
計	17,561	25,791	43,352	3,112	46,464	△700	45,764
セグメント利益 又は損失(△)	1,301	2,552	3,854	△6	3,847	△49	3,797

- (注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般包材の販売にかかる事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△49百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△50百万円とセグメント間取引消去0百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	押出事業	ビーズ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,133	25,947	43,081	2,890	45,971	—	45,971
セグメント間の内部 売上高又は振替高	394	216	611	26	638	△638	—
計	17,528	26,164	43,692	2,917	46,610	△638	45,971
セグメント利益 又は損失(△)	1,320	1,636	2,956	△105	2,851	△88	2,762

- (注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般包材の販売にかかる事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△88百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△89百万円とセグメント間取引消去0百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、従来「その他」に区分していた製品の一部について、「ビーズ事業」へ報告セグメントの変更を行っております。

なお、会社組織変更後の区分により作成した前第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、「前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)」に記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、68百万円の減損損失を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。